

これが 第351号 公民館報

御意見・御希望・お問い合わせは四賀公民館まで… TEL 64-3112

四賀の世帯数・人口

世帯数	1,852	世帯
人口	3,923	人
男	1,881	人
女	2,042	人

(令和6年3月1日現在)

未来へつなぐ 私たちのまちづくりの集い

第39回松本市公民館研究集
会が2月18日(日)にMウイ
ングで開催されました。午後
の第5分科会は「居場所づく
り」をテーマに四賀地区で開
かれ、35名が参加しました。

当地区での分科会開催は
昨年続き2回目で、今年
移住者の実践例3つが発表さ
れました。会場は会田新町の
「Aidam」ダンススタジオ
を備えた古民家で、会議室
とは違いフランクでアットホー
ムな趣きです。事例ごとのミ
ニ体験付。休憩時間には茶菓
のふるまいもあり、最後は5
つのグループに分かれて意見
交換。盛りだくさんの内容で、

参加者の
議論を深
める時間
が足り
なかつた
ことが
少し心
残り
でした。



●事例発表①

「まじもじお正すくすく子育てサロン」
相馬節子さん

乗鞍すもも荘住人兼管理人。
白馬村生まれの大町育ち。
小学校や保育園の先生を経て、
2020
年から理
想の保育
を乗鞍で
始める。

親たちの
交流の場
づくりを
目指す。

奈川や安
曇地区とも
連携して、
親子で楽し
めるサロン
を年4回開催。手芸や野外
体験などを実施。

ミニ体験は端切れのミニ
コースター作り。



●事例発表②

「わくわく縁側サロンプロジェクト」
大宮桃子さん

1年半前に会田に移住。
夫の舞踊家大宮大獎さ
んとともに古民家スタジオ
「Aidam」を運営。

善光寺街道沿いのムムの縁
側で、縁側体操やワークショッ
プを開催。気軽に立ち寄れる
縁側サロンを作りたい。

特技を持つ地域の人に講師
を頼み、ワークショップを続

けていき
たい。例、
味噌作り、
布草履作
り、木工、
歴史など。

分科会
の締めく
くりにも
ムの主宰者・大宮大獎さん
によるヨガミニレッスン。



●事例発表③

「地域を育てる絵画教室」
五加文字さん/えかきの会

夫と小学校1年生の娘と
もに原山に移住。

2023年6月から毎週

1回、小
学生対象
にムムで
お絵描き
教室を開
講。下校
時の児童
2〜8名
が参加。



近隣での野外
スケッチも行
いたい。子ど
もたちに自分
の住む地域を良いところ、楽
しいと感じてほしい。
ミニ体験はリングとネギの
スケッチのレッスン。

国宝松本城及び 世界遺産に関する学習会

世界遺産登録を目指す松本
城を学ぶ会が市の文化財課の
主催で行われ
ました。2月
22日(木)の
座学では20人
が参加し、松
本城の歴史を
学び、世界遺
産登録を目指
す意味を共有
しました。何と
なく知っているつもりでいた松
本城も、できる前からの歴史を
学ぶことであの場所にあの形で
存在する意味が理解できまし
た。また、明治以降倒壊の危
機を救って今に残してきた先人
達の努力を未来につなぐため
にも遺産登録の意義があること
もわかりました。

29日(木)の現地見学では天
守に登るのは小学校以来とい
う参加者も見られました。壁が
内側に湾曲し
ている一層二
層の構造とか
江戸期の増築
部分の造りの
違いなど、初
めて知ること
も多い有意義
な機会でした。



空き家のお悩み
相談会

1月23日(火) 24日(水)に支所にて、講師に四賀きま移住相談室の塩田朱美さんを迎えて行われました。「空き家になってしまった家を売ったり貸したりしたいけど、どうして良いかわからない」といった悩みに応えるための最新の知識が紹介されました。「更地にした方が売れる」とか「家の中はかたづけしないと売れない」というような、何となく思い込んでいた常識は次々と覆されました。四賀は地方に移住したい人の注目を集めているという特異な事情もあります。四賀に空き家を抱えたまま地区外に出ている方にも相談室を紹介してあげられるのも大事な支援。空き家の活用は四賀の元気につながります。



ペタンク交流会・体験会

2月16日(金)と3月15日(金)に開催されました。2月の会には地区外の松本連盟からの参加もあり26人が参加。一投ごとに「よしよし」「惜しい」などと声を掛け合い、にぎやかに交流しました。10年の経験を持つベテランはペタンクの魅力は「運任せなところ」と笑います。初めての人も複数いて一緒に楽しんでいました。



イルミネーション

毎年四賀支所前ふるさと公園ではイルミネーションが点灯しています。これは四賀元氣プロジェクト(四賀地区の松本商工会議所会員を中心とした組織)が設置しているものです。



平成25年から10年以上続いており、12月から2月までの間点灯しています。残念ながら元氣プロジェクトの解散によりイルミネーションは今年度で終了します。

福寿草まつり

四賀の里に春の訪れを告げる福寿草まつりが、3月9日(土)から24日(日)まで開催されました。赤怒田の斜面一面に黄金の絨毯が広がり、多くの人が花を眺めながらの散策や写真撮影を楽しんでいました。



eスポーツ体験会

2月21日(水)に本町町のサロンにてeスポーツの体験会が行われました。当日初めて体験した人が多く、戸惑う所もありましたが、皆さん興味を持って参加いただきました。当日はボウリングとテニスをを行い、第一投目でストライクを取られた方もいました!脳トレや輪投げ、お手玉も行い、最後は皆でお茶を飲みながら会話を楽しみ、笑顔があふれていました。

エンディングノートを作ってみよう!

自分に何かあったときに備えて家族など親しい人に残すノートの作り方を学ぶ学習会。2月9日(金)に支所会議室で開かれ、シニア女性20名余りが参加しました。講師の市社協の中村ひとみさん手作りのノートが1冊ずつ配られ、どう書き込んでいくかを考えます。「自分のこれまで」「家族や親族」「介護や治療の希望」「財産・相続」「葬儀や墓地」「遺品の整理」などを自分の判断力がしっかりと書いているうちに書いておけば安心です。

深刻になりがちな話題ですが、講師の中村さんはご自身の義父母の介護や看取りの実体験を交え、てきぱきと解説。方言交じりの問いかけにこたえたり笑ったり共感したりと、明るい雰囲気包まれた学習会でした。



湧き水

▼昨年末に会吉バイパスが開通しました。全長約1.4kmで旧道に対しては600mほど、時間では2分ちよつとの短縮です。数字だけ見たら「何だ大したこ

とないじゃない」と思ってもいいかもしれませんが、走ってみればその差は歴然。数字以上の差を感じると思います。▼さて問題は先です。青木峠バイパスによって、11kmの「酷道」と揶揄される道が4・3kmの国道になる計画です。どれだけ世界が変わるか想像しただけでワクワクします。▼四賀地区にとってトンネルの開通は長年の悲願です。でもトンネルが開くこと自体が目標でも目的でもありません。そのトンネルによってどんな未来を作るのかが目的になるはずで、それは「私たちの」課題です。▼私たちの暮らしが便利になるのは基本です。さらに想像を広げましょう。人の流れが変わって今までの地を通らなかつた人が訪れた時、どのように心が動き、この地にどんな関わりを持ってもらうか。開通までは首を長くするだけでなく、考えて行動したいと思います。

デマンド交通
を使いましょう!
3月16日からダイヤの改正により、土曜日の便が廃止になりました。デマンド交通は地区内のバス停ならどこでも乗合バスです。地区内の観光やお食事等で活用していきましょう!